



2024年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年3月14日

上場会社名 株式会社シャノン 上場取引所 東
コード番号 3976 URL <https://shanon.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 健一郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO兼経営管理本部長 (氏名) 友清 学 TEL (03) 6743-1551
四半期報告書提出予定日 2024年3月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有 (当社ウェブサイトにて決算説明動画を配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第1四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	630	0.3	△134	-	△135	-	△136	-
2023年10月期第1四半期	628	17.8	△150	-	△151	-	△151	-

(注) 包括利益 2024年10月期第1四半期 △135百万円 (-%) 2023年10月期第1四半期 △158百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	△42.98	-
2023年10月期第1四半期	△51.76	-

(注) 1. 2023年10月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額のため、記載しておりません。

2. 2024年10月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第1四半期	2,157	△88	△4.4
2023年10月期	2,024	39	1.9

(参考) 自己資本 2024年10月期第1四半期 △93百万円 2023年10月期 38百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年10月期	-	-	-	-	-
2024年10月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,510	4.1	△132	-	△132	-	△139	-	△43.79
通期	3,275	11.6	32	-	30	-	10	-	3.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期1Q	3,180,700株	2023年10月期	3,173,900株
② 期末自己株式数	2024年10月期1Q	254株	2023年10月期	254株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期1Q	3,173,720株	2023年10月期1Q	2,934,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2024年3月15日（金）に、決算説明動画を公開する予定です。また、決算説明動画の書き起こしも、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するクラウドサービス市場においては、クラウドサービスを利用している企業の割合は引き続き上昇傾向にあります。総務省の令和4年「通信利用動向調査」によると、2022年度末におけるクラウドサービス利用企業の割合は72.2%（前年70.4%）に拡大しています。また、同調査によると、資本金規模別のクラウドサービス利用状況においても、大企業を中心に引き続きその利用率は拡大傾向にあります。このように成長を続けるクラウドサービス市場の中で、当社が属するマーケティングオートメーション（SaaS）分野も例外ではなく、今後も8.6%（2022～2027年度の年平均成長率）の市場成長率が見込まれています（出典：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2023年版」）。

一方で、コロナ禍で影響を受けていた当社のマーケティング活動やイベントクラウド事業においては、コロナ禍を脱し、社会活動を取り戻しつつある中で、コロナ禍で培ったウェビナーを活用した自社マーケティング活動を継続しつつも、リアル展示会への出展や、リアルイベント開催への回帰の動きが鮮明となってきています。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高については、サブスクリプション事業を中心に概ね順調に推移しました。また、費用面については、近年、中期的な成長加速を実現するために積極的な採用を行ってきたことで人件費を中心に増加傾向が続いておりましたが、前期からの採用抑制や人事異動による人員の有効活用等により前年同期比で微減となっており、その分全体の収益性も改善傾向にあります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は630,469千円（前年同期比0.3%増）、営業損失は134,040千円（前年同期は営業損失150,381千円）、経常損失は135,896千円（前年同期は経常損失151,545千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は136,416千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失151,892千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

セグメント名称	内容
サブスクリプション事業	■サブスクリプション（年間契約） MA、CMSのシステム利用料 MRR（月額契約金額）、従量課金、有償保守サービス、年間契約のBPOサービス
	■プロフェッショナル MA、CMSに関する初期導入サービス、BPOサービス、WEB制作、マーケティングコンサルティング等
イベントクラウド事業	SMPを用いたイベントのシステム支援（バーチャルイベントに関するシステム構築費を含む）、会期当日支援（機材レンタルを含む）
広告事業	デジタル広告の運用、コンサルティング
メタバース事業	株式会社ジクウが提供するメタバースイベントプラットフォームのシステム利用料、従量課金、初期導入サービス、BPOサービス等

①サブスクリプション事業

当セグメントは、「SHANON MARKETING PLATFORM」を中心とする年間利用契約に関する売上（サブスクリプション）とそれに付随する初期導入やコンサルティングサービス等の売上（プロフェッショナル）から構成されています。

当連結会計年度における売上高については、最重点方針として取り組んでいるサブスクリプション売上、プロフェッショナル売上ともに順調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるサブスクリプション売上は389,609千円（前年同期比15.0%増）、プロフェッショナル売上は105,542千円（前年同期比31.8%増）、サブスクリプション事業全体の売上高は495,152千円（前年同期比18.2%増）、営業損失は12,252千円（前年同期は営業損失42,502千円）となりました。また、当第1四半期連結会計期間末における契約アカウント数は、546アカウント（前期末比△1.1%減）となりました。

②イベントクラウド事業

イベントクラウド事業は、前期後半からリアルイベント開催への回帰の傾向が鮮明となり、当社のイベントクラウド事業を取り巻く市場環境は改善してきています。当第1四半期連結累計期間においては、大型イベントの会期が少なかったものの、通期予算達成に向けた受注動向は順調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は72,864千円（前年同期比49.9%減）、営業損失は20,345千円（前年同期は営業利益7,475千円）となりました。

③メタバース事業

メタバース事業は、リアルイベントへの回帰の流れは一部逆風となるものの、影響を受けるプライベートショーや展示会だけでなく、ウェビナー、採用イベントやマッチングイベント、ショールームなどの案件、社内イベント、周年イベントなど活用シーンにも広がりが出てきております。今後も多様化する活用シーンをしっかりと受注獲得機会に繋げられるように、積極的な事例公開や追加の機能開発にも引き続き取り組んでいます。また、直近では年間契約となる案件受注も発生しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,368千円（前年同期比18.1%減）、営業損失は5,125千円（前年同期は営業損失16,435千円）となりました。

④広告事業

広告事業は、国内初のサードパーティークッキーに依存しないクッキーレス型のダイナミックリターゲティング広告の受注が順調に推移するとともに、既存の大口顧客の動向も計画に対して順調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は52,083千円（前年同期比1.3%増）、営業損失は17,361千円（前年同期は営業損失6,840千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、2,157,765千円（前連結会計年度末2,024,290千円）となり、133,474千円の増加となりました。このうち、流動資産は1,238,725千円（前連結会計年度末1,108,143千円）となり、130,581千円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が350,903千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が230,430千円減少したことによるものであります。また、固定資産は905,076千円（前連結会計年度末906,602千円）となり、1,526千円の減少となりました。この主な要因はのれんが11,282千円減少した一方で、『SHANON MARKETING PLATFORM』の機能強化や『ZIKU』の開発等によるソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の合計が5,322千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,245,959千円（前連結会計年度末、1,984,756千円）となり、261,202千円の増加となりました。このうち、流動負債は847,478千円（前連結会計年度末1,048,244千円）となり、200,766千円の減少となりました。この主な要因は、前受金が104,773千円、支払手形及び買掛金が54,645千円、その他に含まれる未払金が17,430千円、未払法人税等が10,031千円それぞれ減少したことによるものであります。また、固定負債は1,398,481千円（前連結会計年度末936,512千円）となり、461,969千円の増加となりました。この主な要因は社債が499,586千円増加した一方で、長期借入金が37,617千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、△88,194千円（前連結会計年度末39,534千円）となり、127,728千円の減少となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が136,416千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	400,862	751,765
受取手形、売掛金及び契約資産	491,197	260,767
仕掛品	50,902	70,448
その他	165,181	155,744
流動資産合計	1,108,143	1,238,725
固定資産		
有形固定資産	42,971	39,856
無形固定資産		
ソフトウェア	361,997	337,460
ソフトウェア仮勘定	30,476	60,336
のれん	209,566	198,284
その他	7,336	7,327
無形固定資産合計	609,377	603,409
投資その他の資産	254,252	261,810
固定資産合計	906,602	905,076
繰延資産	9,545	13,963
資産合計	2,024,290	2,157,765
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	119,047	64,402
1年内返済予定の長期借入金	157,158	154,268
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	14,534	4,502
前受金	452,164	347,390
賞与引当金	56,070	49,527
受注損失引当金	—	238
その他	209,269	187,149
流動負債合計	1,048,244	847,478
固定負債		
社債	694,460	1,194,046
長期借入金	242,052	204,435
固定負債合計	936,512	1,398,481
負債合計	1,984,756	2,245,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	548,276	550,010
資本剰余金	193,349	195,083
利益剰余金	△711,357	△847,773
自己株式	△485	△485
株主資本合計	29,783	△103,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	488
為替換算調整勘定	8,388	8,804
その他の包括利益累計額合計	8,778	9,293
新株予約権	971	5,677
非支配株主持分	—	—
純資産合計	39,534	△88,194
負債純資産合計	2,024,290	2,157,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上高	628,311	630,469
売上原価	249,948	259,661
売上総利益	378,363	370,807
販売費及び一般管理費	528,744	504,848
営業損失(△)	△150,381	△134,040
営業外収益		
受取利息	49	195
受取手数料	36	33
為替差益	258	—
助成金収入	424	732
その他	322	154
営業外収益合計	1,092	1,115
営業外費用		
支払利息	1,301	1,081
社債利息	191	128
社債発行費償却	763	1,146
為替差損	—	615
営業外費用合計	2,256	2,971
経常損失(△)	△151,545	△135,896
税金等調整前四半期純損失(△)	△151,545	△135,896
法人税、住民税及び事業税	346	519
法人税等合計	346	519
四半期純損失(△)	△151,892	△136,416
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△151,892	△136,416

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期純損失(△)	△151,892	△136,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	98
為替換算調整勘定	△7,013	415
その他の包括利益合計	△6,930	514
四半期包括利益	△158,822	△135,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△158,822	△135,902
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2022年11月1日至2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	サブスクリプション事業	イベントクラウド事業	メタバース事業	広告事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	418,841	145,417	12,657	51,395	628,311	—	628,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,251	—	260	2,137	7,649	△7,649	—
計	424,093	145,417	12,917	53,532	635,960	△7,649	628,311
セグメント利益又は損失(△)	△42,502	7,475	△16,435	△6,840	△58,303	△92,078	△150,381

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△92,078千円には、セグメント間取引消去△3,846千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△88,232千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自2023年11月1日至2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	サブスクリプション事業	イベントクラウド事業	メタバース事業	広告事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	495,152	72,864	10,368	52,083	630,469	—	630,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	49	—	2,280	1,527	3,857	△3,857	—
計	495,202	72,864	12,649	53,610	634,327	△3,857	630,469
セグメント利益又は損失(△)	△12,252	△20,345	△5,125	△17,361	△55,083	△78,957	△134,040

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△78,957千円には、セグメント間取引消去96千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,053千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。